



生駒市立鹿ノ台小学校

鹿小だより



鹿小ホームページ

令和 7年 10月 31日

第 15 号

心ひとつにしてがんばる姿がいっぱいの運動会

運動会の開催について子ども達や保護者、地域の皆様には、たいへんご心配とご負担をおかけいたしました。順延の順延の順延でしたが、ようやく木曜日に実施することができました。気持ちを切り替えて最後まで取り組んだ子ども達や教職員に感謝です。また、ご家庭で子どもたちを励ましたり支えたりしていただいたおかげです。平日にもかかわらずたくさん応援に駆けつけてくださった皆様、ありがとうございました。当日、どうしても都合がつかずご観覧いただけなかった方々、申し訳ありませんでした。



忘れられない光景

先日の運動会では、子どもたちが「仲間と共に心一つ！ 優勝の空へ」のスローガンのもと、心を一つ

2年ぐるぐるしばフーン



にして頑張る姿をたくさん見るすることができました。どの競技にも真剣にひたむきに取り組む姿があり、子どもたちの成長を感じる2日となりました。その中でも、私の心に強く残っている光景があります。

雨でぬれた芝生の上で足を滑らせて転んでしまった子の姿です。

きっと悔しく、悲しい思いをした

ことでしょう。転んだ姿を見て、全力で走ることをためらった子もいたかもしれません。子ども達が一生懸命練習してきた運動会で、雨のために、こんな気持ちにさせてしまうなんて。もっと早く、止めればよかったのではないかと後悔の念が残りました。

同じ日に市内の他の小学校でも運動会が行われました。雨が降って一時中断したものの、雨が上がってから再開し最後までやり切った学校もあったと聞きました。いずれも土のグラウンドで水はけがよかったそうです。その話を聞いて、この時ばかりは、「もし本校も土の

6年 リレー



3年 個人走



グラウンドだったら…」と考えてしまいました(転んでも大けがしにくい)。そして、そんなときには必ず、転んだ子の姿が目の前に浮かんでくるのでした。

もちろん、どんな判断にも迷いや葛藤はつきものです。ですが、今回の経験は、今度の判断に活かすべき「忘れえない光景」として、心に深く刻まれました。

全力で取り組む姿はそれだけですばらしい

そんな中、転んだ友達に気づいて、ゴールせずに引き返してきた子がいました。「だいじょうぶ？」と声をかける姿に友達を思いやるやさしさと行動力を感じ、胸をうたれました。もちろん、転んだことに気づかなかった子や気づいてもどうしようもなかった子もいます。自分のできることを全力で精一杯取り組もうとする姿は、それだけで十分素晴らしいものでした。



ありません。転んで悔しがる姿、すぐに立ち上がって駆け出す姿、仲間を思って引き返す姿、まっすぐゴールを目指す姿、勝って喜ぶ姿、賞を逃して涙をこらえる姿——どの姿にも子どもたちの一生懸命な思いがあふれていて、強く大きく心を揺さぶられました。

今回の運動会は、判断の難しさとともに、仲間と共に心一つにしてがんばる姿に数多く触れ、子どもたちの成長ややさしさを改めて感じる事ができた、かけがえのない日となりました。保護者の皆様には、温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

